

アーティストが見た北海道・札幌プログラム03

夕張ツアー 09.25

きのうときょうの、ゆうばりにいく。

SIAF2017参加アーティストたちの北海道リサーチの軌跡をたどり、現在進行形のアートプロジェクト（清水沢プロジェクトと菊池史子の『忘れない歌～夕張市にかつてあった小学校の校歌～』）を尋ねるツアーです。



写真：清水沢プロジェクト

アーティスト・トーク

菊池 史子 1986年北海道生まれ/ドイツ在住

言語と感情の関係性について関心がある。菊池は個々人が抱える言語環境や社会的集団、またその心理的状況に疑問を投げかけている。2016年より夕張市にて市にかつてあった28校の小学校の校歌に焦点を当てた映像プロジェクトを開始した。校歌とは何だったのか、その歌詞に秘められた歴史や記憶について元卒業生へインタビューを行っている。

JR夕張駅 11:00集合 (15:30頃夕張駅 解散)

参加費 無料 (交通費や昼食代などの実費は、各自負担)

高速バス往復 3,500円

昼食代 700～1,000円

定員 10名 (先着順)

持ち物 動きやすい服装・靴、防寒着

▶ 9/24 (日) までに、下のWEBサイトか電話より申し込み下さい。



<https://www.secure-cloud.jp/sf/1505955337oUuQzNDV>



070-5607-4204

10:00-18:00
資料館休館日は除く

問い合わせ先

アートとリサーチセンター

札幌市資料館 2階 (札幌市中央区西13丁目)

070-5607-4204 (10:00-18:00/資料館休館日は除く)

siaf2017aarc@gmail.com

札幌国際芸術祭2017

アートと
リサーチ
センター

MON

2017 9/25

11:00-15:30

夕張ツアーガイド

佐藤 真奈美 一般社団法人清水沢プロジェクト代表

1979年生まれ。大分県別府温泉出身。大学卒業後、就職で北海道へ。大学院を経て、2009年から空知地方の炭鉱遺産を活用するまちづくりNPOで「炭鉄港一北の近代三都物語」「炭鉱の記憶アートプロジェクト」などを担当。2015年から清水沢プロジェクトとして独立。交流拠点施設「清水沢コミュニティゲート」の運営を中心に、炭鉱遺産を糧に地域内外の人々がともに歩むまちづくりを目指して活動中。

▶ <http://www.shimizusawa.com/>



ツアー行程 9/25 MON

11:00

JR夕張駅集合 / 自己紹介など

11:10

夕張共生型ファーム (旧夕張小学校)

菊池史子アーティスト・トーク

—昼食—

12:10

出発—スーパーロ湖へ

12:40

鹿島地区の学校の記念碑のある公園 (旧夕張東高跡)

鹿島地区水没エリア (三菱大夕張炭鉱の跡地) について

さわひらき「うろ・うろ・うろ」

13:00

旧北炭清水沢火力発電所

北炭の送電線網の起点、アートの力で残った炭鉱遺産

毛利悠子「そよぎ または、エコー」

13:15

旧北炭清水沢炭鉱ズリ山

夕張の歴史とこれから / ズリ山について

14:15

清水沢コミュニティゲート見学

菊池史子トーク